

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)

目的

学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図る

平成20年度予算額 16.2億円
(平成19年度予算額 15.9億円)
財政支援期間:大学4年以内、短大・高専2年以内
選定件数:平成19年度 70件
平成20年度 23件
対象:国公立の大学、短期大学及び高等専門学校(大学院は対象としない)

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム実施委員会

情報発信

事例集の作成、
フォーラムの開催、
ホームページ等による
情報提供 など

公募・審査、事後評価

大学・短期大学・高等専門学校

学生支援プログラム

現在の学生支援の取組

修学支援、学生相談、就職支援、
健康支援・メンタルヘルス支援、
経済的支援、課外活動支援、
学生生活上の支援、留学生への支援、
障害のある学生への支援 など

ポイント

- ・社会的ニーズや学生のニーズに的確に対応
- ・現在の学生支援の取組を適切に実施
- ・学内連携など取組のより効果的な実施のための体制
- ・FD、SDなど教職員の専門的知識や能力の向上
- ・適切な評価と取組改善への活用

新たな取組 (経費補助の対象)

新しい発想や効果的な
方法等により、特色のある
優れた支援を実施

ポイント

- ・独自の創意工夫が行われ
他大学等の参考となる
- ・大きな効果が期待される
- ・将来の発展が見込まれる

相乗効果

多様な学生

資質、能力、知識
の異なる学生

留学生

障害のある学生

など

様々な 社会的課題

少子化

ニート・フリーター

再チャレンジ

など

期待される効果

- ・学生が学習に集中
できる環境作り
- ・学生生活の様々な
悩みの解決
- ・学生の人間的な成
長の促進
- ・多様な学生の就学
機会の確保
- ・様々な社会的課題
に対応